

令和 2 年度 健康推進課 主たる事業（実績見込み）

母子保健事業

志摩市母子保健計画に基づき、妊婦・乳幼児健康診査や健康相談、家庭訪問、健康教育等の各種母子保健事業を実施しました。（12月末現在の実績）

1 妊婦健康診査

妊娠の届出があった妊婦に対し、母子保健のしおりを発行し、全員に保健師による面接を行いました。妊娠届出時のアンケートや、妊娠経過、こころの状態、家庭環境等から支援が必要な妊婦を把握し、必要に応じ電話等により支援を行いました。

また、14回分の健康診査費用を助成し、里帰り等による県外在住妊婦についても、償還払いによる健診費用の助成を行いました。

○母子保健のしおりの交付：136人（転入妊婦9人含む）

○1～14回妊婦健診受診件数：延べ1,444件（4月～11月受診分）

○県外助成：8人

2 家庭訪問

生後1～2か月の乳児がいる家庭へ、保健師、訪問員が全戸訪問を実施し、産婦に対し産後うつ程度を確認するための『エジンバラ産後うつ質問票（EPDS）』等によりこころの状態を確認し、育児不安や育児環境等への保健指導を行いました。緊急事態宣言発令中は、資料配付訪問で対応し、必要な児に対してのみ計測、相談を訪問、面談で行いました。

また、出産時の状況や産婦健診等で EPDS 高値の人や、育児不安のある人、身体面や育児環境等で経過観察が必要なケースは、医療機関と連携し、早期に保健師による訪問等を実施しました。

○赤ちゃん訪問：141人（資料配付訪問23人、市外依頼分16人を含む）

○随時訪問（フォロー児）：18人

3 思春期保健事業

昨年まで実施していた「赤ちゃんふれあい教室」は、新型コロナウイルス感染症対策のため、乳児親子や母子保健推進員の協力が難しいことから中止し、性感染症に関する知識の普及と健康教育を通して自分自身の大切さに気づくことを目的に保健師による思春期出前講座を市内の全中学校に実施しました。

○思春期出前講座：5校 中学3年生 250人（1校1月実施予定）